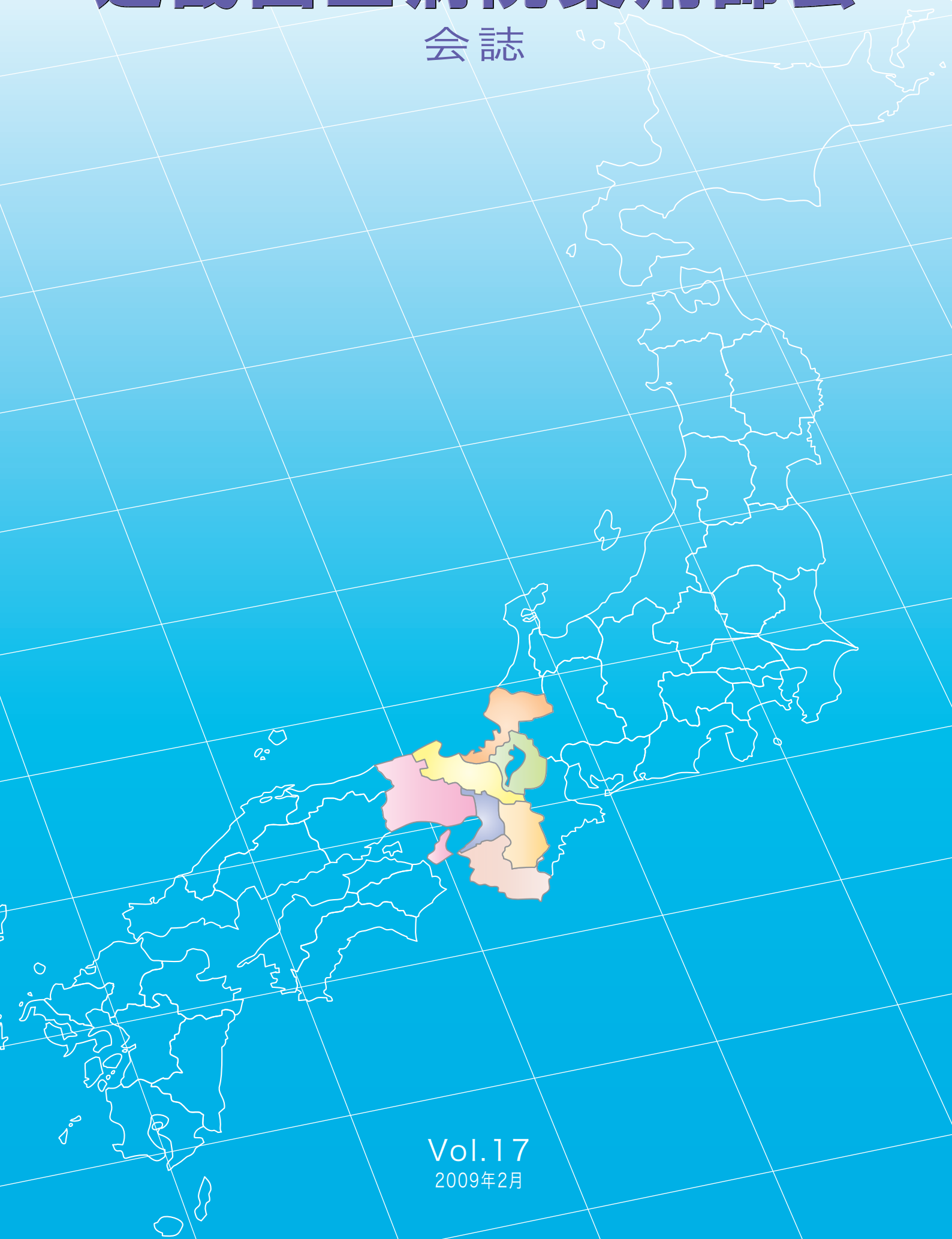


近畿国立病院薬剤師会

会誌



Vol.17
2009年2月

目 次

年頭所感	2
責任ある薬剤師 ～ 「患者さんのために何ができるか」 ～ 近畿国立病院薬剤師会 会長 小原 延章	
提言（薬剤部科長）	4
～～「常に考える。なぜ、なぜ、なぜ」～～ 松籟荘病院 薬剤科長 田中 巧	
薬剤科紹介 紫香楽病院	5
平成 21 年度近畿国立病院薬剤師会総会報告	7
舞鶴医療センター 堀内 保直	
編集後記	9

年頭所感

責任ある薬剤師

～ 「患者さんのために何ができるか」 ～

近畿国立病院薬剤師会 会長
京都医療センター 小原 延章

国立病院が独立行政法人に移行し、4月には早や5年となり、近々にはこの5年の活動を踏まえた新たな5年間の目標設定、第2期中期計画が示されることとなります。第1期が経営を重視したものであったのに対し、次期計画では経営に加え、さらなる医療の質の向上を目指したものとなると思われます。

また、国立循環器病センターをはじめナショナルセンターにおいても、2010年に独立行政法人化・非公務員化されることが昨年末の国会で可決成立し、今後は研究センターとしての機能の充実も強化されることとなります。なお、同時期に国立病院機構施設の非公務員化もなされようとしている状況です。

近畿ブロック内施設に勤務する全薬剤師からなる当薬剤師会も、独立行政法人化の前に発足され、国立病院の独立行政法人化とともに歩み、早や5年が経過しました。この間、薬剤師会の目的である薬剤師の資質向上と情報の共有化を図るため、会員の皆様方の多大な協力の下、各委員会による講演会、研修会をはじめ教育研修などの事業を精力的に取り組むとともに、定期的な会誌の発行やホームページ等を活用した広報活動なども実施して参りました。

各施設においては、平成20年度の診療報酬改定にかかる新たな領域に踏み込んだ薬剤師業務、薬学教育6年制に向けた実務実習受入れ体制の整備のほか、チーム医療での薬剤師の果たすべき役割などを模索しながら取り組まれていることと思います。昨年8月には、日本学術会議の提言「専門薬剤師の必要性と今後の発展～医療の質の向上を支えるために～」が示されました。最近、医療関連紙上を賑わしているKeywordの一つに「チーム医療におけるスキルミクス」という言葉があります。

スキルミクス (Skill-Mix) とは、「職種混合」、「多能性」と訳されていますが、最近では医療チームの中でそれぞれの職種の役割の補完・代替関係を指したり、多職種間の職種混合のあり方や職種間の権限委譲・代替、新たな職種の 신설などを指す概念となっているようです。『チーム医療の中での薬剤師の役割、専門性を如何に発揮できるか。』今後の薬剤師の存在意義そのものが問われているといっても過言ではありません。

新たな業務展開に挑戦して行かなければなりません。

さらに、昨年の11月に徳島・鳴門市の病院で起こった「サクシン」・「サクシゾン」の投薬事故に端を発した日病薬通知「疑義照会の徹底及び医薬品安全管理手順書等の緊急点検」について、これらは我々薬剤師の義務であり、薬剤師の存在そのものを示すもので

す。医療や患者の安全対策の面からも薬剤師の重要性は増してきています。

やるべき時にやるべきことをやらなければなりません。

今年の干支は、正確には「己丑」（つちのとうし・きちゅう）。

十二支の第2番目「丑」（ちゅう）は、「紐・からむ」の意味で、芽が種子の内部でまだ伸びることができない状態を表しているという。また、「牛」と言えば国会での牛歩戦術が頭を過りますが、我々にとって牛歩はだめです。今、立ち止まっている時ではありません。走り考え、走り行動しましょう！！このほかの例えとして、「丑」という字は、「寒気が和らぐのを待って、手を挙げて仕事をやり始める」という意味もあるそうです。（大漢和辞典より）また、二つのものが合わさる境を意味し、ひとつのことが終わり新しいことが始まる「転機」を象徴しているそうです。そう、「変革」「Change」です。加えて「挑戦 Challenge」、「チャンス Chance」、「進撃 Charge」、「魅力 Cham」と正に「5 Cha」が今年の Keyword になるかも知れません。（某新聞の記事の中に「Cham」の代わりに「Champion」を入れた5 Ch というのが紹介されていましたが・・・）

「新しい分野への挑戦」、「チーム医療での役割」、「医療安全への貢献」などを実践して行くために、牛の如く、時に走り、時に地に足をつけつつ、新たな業務展開に大いに手を挙げ、何事にも挑戦して行かなければなりません。

薬剤師としての責任を果たすために、常に「患者さんに何ができるか」を自身に問い、行動を起こしましょう！！今がその時です。

****** 「顔の見えない薬剤師」から脱却しましょう！！******

今後の皆様方のご健康と、ご活躍をお祈りするとともに、重ねて薬剤師会活動への積極的な参加・協力をお願い致します。

提言

～～「常に考える。なぜ、なぜ、なぜ」～～

松籟荘病院 田中 巧

サブプライムローン問題をきっかけにリーマンショックが起こり100年に一度という金融危機が勃発した。それに伴い自動車の販売台数が著しく減少し、米国自動車大手3社（ビッグ3：GM、クライスラー、フォード）は経営危機に陥り、金融支援を取り付けようと米国議会に相次いで再建計画を提出した。原油価格の上昇もあるが、環境問題（CO₂対策）・小型化・軽量化・低燃費化等の対策を怠ってきた事が原因と考えられている。経営の失敗を認めず「米国では大型車であっても造れば売れる。大型車こそ米国のシンボルだ」などと高額な所得をもらって自家用ジェット機を乗り回す能天気な経営陣が一番の問題であったと言われている。

大企業が赤字決算で大規模なリストラを行う中、先日某テレビ番組で毎年黒字決算、ノルマもなく、残業禁止、年功序列、終身雇用、従業員約800人が全員正社員という現在の成果主義とは逆行する日本の雇用形態を維持している中小企業の会社が紹介された。定年は70歳で、70歳まで給料はずっと右肩上がりであるという、何とも羨ましい会社である。

この会社は、岐阜県にある電気設備資材メーカーである。有名なのは国内で8割以上のシェアを持つスイッチボックスで、壁に付ける電灯などのスイッチの裏側に埋め込むため、上に壁紙が張られると位置が分からなくなってしまう。そこで、上下にアルミテープを張り、金属探知機で探し当てる仕組みを開発した。手のひらほどの箱に約10もの特許、実用新案が詰まっている。付加価値にこだわり、これまでに発明した新商品は1万8千種類以上である。これらは、社員が業者との対話から生まれたアイデアである。ライバルは世界トップブランドの松下電工であるという。社内には「常に考える。なぜ、なぜ、なぜ」という社是が随所に貼られていた。常に考え疑問を持ち、その結果同じ商品でも他社にないオリジナルな商品を作ることにより差別化を図ったのである。インタビューに答えていた人たちはみんな明るく、楽しそうに仕事をしていたのが印象的だった。社内に提案制度があり年間9千件もの提案が集まっている（提案すれば参加費として500円もらえる）。社長が言っていた、「アメ」だけで「ムチ」はいらない。「アメ」を与えることにより、社員のモチベーションが上がりアイデアが出てくる。自然に「常に考える。なぜ、なぜ、なぜ」を実行していると思われる。

業績評価制度の導入などで、成果主義がちらつく中、毎日の多忙な業務に追われて考える余裕すらないかもしれない。残念ながら我々には「アメ」はない。しかし、毎日淡々と業務をこなすのではなく、少しでも病院経営に参画し、常に考え疑問を持ち、いいアイデアを出し、病院の一員として微力ながらも貢献しようではないか。我々は時代の流れに乗れなかったビッグ3のようになってならない。「常に考える。なぜ、なぜ、なぜ」を実行し勝ち組になろう。

薬 剤 科 紹 介

独立行政法人 国立病院機構 紫香楽病院

【環境】

当院は、滋賀県南部の甲賀市信楽町に位置しています。アクセスはJR草津線貴生川駅より信楽高原鉄道に乗り換えて紫香楽宮跡（しがらきぐうし）駅で下車して、徒歩約3分という便利さであります。最近では、宅地化が進んでいますが、それでも多くの緑に囲まれた療養に最適な環境にあります。



信楽は、古くは奈良時代に紫香楽宮（しがらきぐうし）と呼ばれた都があり、当院の名称の紫香楽は、この万葉仮名に由来します。

信楽といえば、焼き物をイメージしますが、町を歩けば至る所に、たぬきの焼き物が存在しています。院内にも可愛い信楽たぬきを置いてあり、患者さん、病院職員を癒しています。



紫香楽宮跡駅付近の風景です。

信楽高原鉄道は、すべて無人駅であり、下車する際に運転手に料金を払うようになっています。飲み会があれば利用し、酔って寝てしまうと駅に着いた時に運転手が起こしてくれます。また、急に鹿が飛び出して一時停車する事態も多々あります。

最近では新名神高速道路が開通となり、病院のすぐ近くに信楽ICがあり、大津、亀山方面へのアクセスは飛躍的に向上しています。



【概要】

紫香楽病院は、結核療養所として発足しましたが、平成12年12月1日に国立療養所比良病院と現在地で統合を機に、結核は滋賀病院へ移し、重症心身障害児医療・神経難病医療・リハビリ医療を中心に、社会の要望に応じた医療の展開を示しています。8診療科、180床（うち重症心身障害児病棟80床）、職員136名と小規模施設ではありますが、病・病連携、病・診連携を取りながら地域密着型の医療に取り組んでいます。

【薬剤科について】

薬剤科のメンバーは、岡田薬剤科長、繁野調剤主任、綿谷薬剤師の計3名です。非常勤が欠であり募集をしていますが、なかなか来てくれない状況です。病院の周辺には調剤薬局がないため、院外処方箋発行率は2%と近畿ブロック施設では最も低く、午前中は外来調剤に奮闘しています。外来処方箋は医事算定システムを利用していますが問題点が多く、現在、プロジェクトチームを立ち上げて改善を目指しています。調剤業務においては、病院の特色から、錠剤一包包装、散薬秤量、錠剤粉碎が多く複雑で時間を要しますが、調剤過誤のないように3名が力を合わせて取り組んでいます。薬剤管理指導業務においては、内科・神経内科・整形外科にて実施しており、日々の業務を改善して件数アップに努めたいと考えています。また、クリティカルパス、医療安全管理、褥瘡対策などの医療チームの一員としても活躍しています。



今年度の薬剤科の目標の1つが、「薬剤師としての職能向上のため生涯研修認定制度に参加する」としました。小規模施設ですが、スキルアップして、より良い医療を提供できるように頑張っています。

(文責：繁野 耕司)

平成 21 年度 近畿国立病院薬剤師会 総会報告

平成 21 年度近畿国立病院薬剤師会総会が平成 21 年 1 月 17 日（土）KKR ホテル大阪にて開催された。

14 時 40 分、小森勝也副会長の開会の辞により総会が開始となり、小原延章会長から挨拶があった。

議長には奈良医療センター宇野敬主任薬剤師が選出され、20 年度事業報告、会計報告、会計監査報告があり、全て承認された。

続いて 21 年度事業計画案、予算案、会則等の改定について審議され全て承認された。その後、ホームページに関する説明があり、最後に小森副会長の閉会の辞により無事、総会が終了した。



開会の辞（小森副会長）



挨拶（小原会長）

日時：平成 21 年 1 月 17 日（土）

場所：KKR ホテル大阪

担当施設：兵庫中央病院

出席者数：出席者 122 名、委任者 80 名

会則第 12 条に従い、会員の過半数出席により総会が成立



審議（宇野議長）

報告および審議事項

I. 報告事項

(1) 平成 20 年度事業報告

① 総務

平成 20 年度年間活動報告について栗原総務担当理事（南京都病院）より報告があった。

② 広報

広報担当会議、担当の任務分担、名簿と緊急連絡網の作成、改訂、ホームページ、会誌について山崎広報担当理事（刀根山病院）より報告があった。

③地区会報告

- ・京都北部・福井地区 上野地区理事（福井病院）
- ・京都南部・滋賀地区 土井地区理事（京都医療）
- ・兵庫南部地区 宮地地区理事（姫路医療）
- ・大阪北部・兵庫東部地区 岡田地区理事（循環器病）
- ・大阪南部地区 石正地区理事（大阪南医療）
- ・奈良地区 松本地区理事（奈良医療）
- ・和歌山地区 老田地区理事（南和歌山医療）

④委員会のあり方に関するプロジェクト会議

前年度のプロジェクト会議に引き続きプロジェクト会議Ⅱが発足し、その経緯および今後のスケジュール等について本田プロジェクトリーダー（大阪医療）より報告があった。

⑤近畿国立病院薬剤部科長協議会

平成20年度事業について小原会長（京都医療）より中間報告があった。

(2) 平成20年度会計報告について本田経理担当理事（大阪医療）より報告があった。

(3) 平成20年12月25日に平成20年度会計監査が実施され濱監査役（和歌山病院）より適正かつ正確であるとの報告がなされた。

以上について審議の結果、賛成多数で承認された。

II. 審議事項

(1) 平成21年度事業計画

①総務

平成21年度事業年間計画について栗原総務担当理事（南京都病院）より説明があった。

②広報

名簿・緊急連絡網、会誌、ホームページについて山崎広報担当理事（刀根山病院）より説明があった。

③各委員会

平成21年度の事業年間計画について、教育研修委員会は和田委員長（神戸医療センター）より、臨床業務委員会は上野委員長（大阪医療）より、業務検討委員会は北村委員長（滋賀病院）よりそれぞれ説明があった。

(2) 平成21年度予算案について本田経理担当理事（大阪医療）より説明があった。

(3) 会則等の改定について小原会長（京都医療）より説明があった。

以上について審議の結果、賛成多数で承認された。

その他

ホームページの変更について石塚広報担当ホームページ責任者（神戸医療）から説明があった。

編集後記

★新年明けましておめでとうございます。新年早々黒人初のアメリカ大統領が誕生しました。We can change! は、オバマ大統領の言葉ですが、日本の政界においても大きな変化が起きそうな気配です。政界再編となれば医療界（特に独立行政法人）にも大波が寄せてくるのでしょうか？

★さて、日本では、昨年からの不況は続いており、トヨタ、ソニーなどの大企業でさえ非正規雇用職員の削減は進んでいます。しかしナショナルセンター・国立病院機構施設においては、春には増員の施設もあるようです。大変有難いことですが、それに甘え、溺れることのないようにしたいものです。

★今年最初の会誌ということで、会長の年頭所感、総会記事を掲載しました。総会でも広報委員会からホームページの更新について報告しました。新しくファイルデリバリー、ドラッグインフォメーションのホルダーを設けましたので、ご活用下さい。また、今年度は、クローズドページもより充実させる予定ですので、ご期待下さい。

(K. Y)

近畿国立病院薬剤師会会誌

第十七号 平成 21 年 2 月発行

発行元 近畿国立病院薬剤師会事務局

大阪府中央区法円坂 2-1-14

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター薬剤科内)

発行人 会長 小原延章 (京都医療)

編集 広報担当理事 山崎 邦夫 (刀根山)

広報委員 石塚 正行 (神戸医療)

中西 彩子 (大阪南医療)

廣畑 和弘 (近畿中央)

堀内 保直 (舞鶴医療)

本田 富得 (神戸医療)

宮部 貴識 (近畿中央)

矢倉 裕輝 (大阪医療)

山内 一恭 (大阪医療)

近畿国立病院薬剤師会ホームページ <http://www.kinki-snhp.jp/>